

医療・介護の情報をわかりやすくお届けします。

NIC健康JOURNAL

ジャーナル

NIC健康
JOURNALとは

「みんなの医療・介護 NIC健康セミナー」で開催された内容を中心に、日々進歩する医療・介護の最新情報を分かりやすくお伝えする地域医療情報誌です。

新潟日報
NICグループ

NICとは、Nippo Information Centerの略・新潟日報販売店。県内には約200のNICがあり、およそ5,100名のスタッフが新潟日報を配達しています。

みんなの医療・介護 NIC健康セミナー

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたい！そんな人たちのために、新潟日报社、新潟日報販売店グループのネットワークや機能を活用して、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供しようと、地域包括ケアシステムの普及と啓発を目的としたセミナーを実施しています。調剤薬局を展開する共栄堂、ダイチクの運営協力のもと、県内全域で開催しています。大変ご好評をいただいているこのセミナーの、4～7月の活動をご報告します。

4/13(土)

五泉市福祉会館 大会議室

参加者 約130名

日本人の死因の約3割を占めるがんについて南部郷総合病院の梨本院長は「亡くなる患者は減っており、治る病気になりつつある。早期発見のため、症状がなくても検診を受けてほしい」と述べました。五泉市健康福祉課からもがん検診の案内資料を配布し呼びかけました。



第1部

5大がんで命を落とさないために
～高齢者のがんはますます増加している～

講師 南部郷総合病院 院長 梨本 篤先生



第2部

『トイレが近くて』困っていませんか？

講師 おびなた 大日方医院 院長 大日方 一夫先生



7/6(土)

アミューズメント佐渡 小ホール

参加者 約100名

前半の講演では、実は悩みが多い頻尿や尿失禁、身近にある様々な眼の病気についてわかりやすく説明しました。メイン講演では、佐渡総合病院の病院長が、急速な少子高齢化に伴って歪みが大きくなっている医療・介護の姿と、行政など多くの関係者が対策を講じている現状について説明し、参加者に理解と協力を強く呼びかけました。



講演1

頻尿、失禁を改善するために
～過活動膀胱とは～

講師 佐渡総合病院 泌尿器科医 鳥羽 智貴先生



講演2

知っておきたい『眼の病気』

講師 さど眼科 院長 酒井 康弘先生



メイン講演

佐渡の医療・介護・福祉をなくさないために
～いま、何が起きているか、何をすべきなのか～

講師 佐渡総合病院 病院長 佐藤 賢治先生



5/25(土)

妙高市勤労者研修センター 研修室

参加者 約50名

50歳以上の女性の3人に1人がかかっていると言われている骨の生活習慣病『骨粗しょう症』について、その原因や症状、治療法について解説しました。講演開始前には丸石製薬様からも、季節柄心配な『食中毒』についての情報発信がありました。



メイン講演

健康寿命をおびやかす『骨粗しょう症』
～寝たきりにならないために今できる予防について～

講師 新潟県立中央病院 整形外科診療部長 荒井 勝光先生



未来のチカラ
in 上越



新潟日報

6/15(土)

マリンドーム能生 マリンホール

参加者 約150名

軟骨がすり減ることなどは加齢とともにだれでも起きると説明し『『年をとると痛くなったり歩けなくなったりするのは当たり前』ではなく、腰、膝、股関節は手術をすれば治る』と述べ、症状によって医師や医療機関を自ら探す必要性を説明しました。



メイン講演

腰ひざ股関節シンドローム
～寝たきりゼロへの挑戦～

講師 宇都宮記念病院 副院長 三輪 道生先生



健康相談会

様々な測定器による健康チェックを薬剤師が対応し、相談室を設けて健康やお薬の助言を行いました。

